



第43号 令和5年1月 発行

社会福祉法人財團済生会

宮城県済生会乳児院

仙台市宮城野区東仙台 6 丁目 1-1

TEL 022[299]0825

<https://miyagi-saiseikai.com/nyujiin/>

宮城県済生会乳児院 施設長 遠藤清之



新年おめでとうございます。昨年中は、皆様にご支援・ご協力をいただき、コロナ下でのさまざまな困難も乗り越えることができました。改めてお礼申し上げます。

さて、年末年始は、いかがお過ごしでしたでしょうか。コロナ感染防止も緩やかになり、街には人があふれている印象でした。また、報道では帰省の動きも多かったようです。私どもとしては、まだまだ油断できませんので、もう少し、子どもへの面会、外出などでのご注意を引き続きお願いいたします。

今年は、当乳児院にとって移転の年になります。新施設の建築も順調に進んでおり、12月には外壁の貼り付けも進み、外観も見えてきました。今年6月末には引き渡しとなり、その後引っ越しを行う予定としております。また、並行して移転後の新たな運営や相談支援に対応できる体制の整備も進めなければなりません。移転後に、フル稼働とはいかないまでも、できるだけの準備は行っていきます。そんな中でも、子どもたちと過ごす時間を大切にしていきたいと思っております。冬になっても子どもたちは、院庭に出ることを喜び、元気に走り回っております。

職員一同、子どもたちのためにできることをしっかりと実践していきたいと考えておりますので、よろしくご支援お願いいたします。

I 理念

済生会創設の精神のもとに、児童を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応し、子どもが大人に守られ、大切にされ、安心して生活できる開かれた安全な養育環境を整え、入所児童の生命と人権を守り、健やかな成長を支援する。

II 基本方針

【保育目標】 素直で、明るく、優しい、健康な子の育成

- ・子どもの個性を尊重し、その人権を守り、最善の利益を追求します。
- ・子どもの発達段階に応じた生活習慣等の確立を支援します。
- ・子どもとの愛着関係を育み、豊かな感性を育てます。
- ・子どもの気持ちをくみ取り、また意見を聞きながら自立を支援します。
- ・子どもの成長を喜び、再出発(家族再統合、里親養育等)を支援します。
- ・職員は、子どもとの関係性を常に重視し、向上心、探求心を持ち、柔軟に子どもたちを支援します。



いも煮会



どんな形にしようかな…？



タキシード仮面の登場



トリック・オア・トリート！
魔法の言葉でたくさんのお菓子をもらったよ！

可愛くして仮装写真撮影！



美味しくできたね☆
たくさんおかわりもして完食！

例年は運動会やピクニックを行っている秋の行事ですが、今年はハロウィンといも煮会を行いました。いも煮では野菜の型抜きをしたり、おにぎりを握ったりと、一人一人楽しむことができました。いも煮を完成させ、カボチャやオバケのエプロンを身につけていると、怪しげなタキシード仮面が登場！タキシード仮面の誘導の下、職員にお菓子をもらいに行きました。最後は美味しいいも煮とおにぎりをペロリと完食し、楽しい秋の行事となりました。





クリスマス会



トナカイさんがいるよ！



可愛い天使とプリンセスたち

職員ハンドベル(っ♪



メリークリスマス♪



どれにしようか

今年のクリスマス会は、保育者のクリスマスマジックで始まり、ちゅうりっぷ組の子どもたちが天使やプリンセス等の可愛い衣装を身にまとい、ステージに上がりました！常務理事や施設長たちがハンドベルの演奏を披露し、きれいな音色を聴きながら子供たちも手拍子で参加して楽しみました。その後は、サンタ(常務理事)さんからプレゼントをもらったり、ブーツの製作をして好きなお菓子を詰めて食べたりして楽しいクリスマスを過ごすことができました！

七五三



今年の七五三は男子4名、女子5名でお参りをしてきました！普段着ることのない着物に可愛く髪の毛をアレンジしてもらい女の子はとっても嬉しそう♪に、男の子はバシッとスーツで決めてご祈禱をしました。

初めての神社、ご祈禱もしっかりと行い健やかな成長を祈願してきました！

～編集後記～

感染症に見舞われましたが、院外保育や行事等は無事に行われて様々な体験をすることができ、充実した一年となりました。また、新しい施設は、計画通りの進捗で、外観も建物らしくなってきました。

令和5年も子どもたちの素敵な笑顔が溢れる一年になるといいな～！ 今年もよろしくお願いいたします。



建設中の新施設